

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720

Tel/fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F Tel/fax : 03-3818-8626

## ～秋の森のめぐみ講座・10/5、6～

一日目の庭の手入れは、今年の暑い夏と共に大きく伸び切った草刈りでした。5名のビーバー隊と参加者みんなのパワーできれいにすることが出来ました。その直後、8日に北海道平和婦人会25名の皆さんが訪れて、「とてもいい景色ですね」とすっきりした庭を眺めておられました。やはり手入れは手を抜けないと思いました。作業された皆さん



ご苦労様でした。

二日目の「青木義民の里巡り」は、お天気に恵まれて学習が深まった歴史散策でした。

←栗林一石路の石碑の前で

会ニュースに詳細記事は載せてあります。ご覧ください。



北海道平和婦人会の皆さん

## ～～今年もたくさんの方が来館されました～～

### 来館者の感想から

- なんと魅力ある蔵書達、近くにホテルが欲しい!! 毎日読書に訪れたい願望が湧きます。
- 中学生です。平塚らいてうについては学校で『青鞥』のことしか習いませんでした。らいてうは他にもさまざまな活動をして間違いなく日本社会を変えてくれた、そんな方であると分かりました。
- この地に住まわれていた訳ではなく、土地を所有されていたと聞き納得。奥村博史氏の彫金センスに驚きました。イケメンだし一目惚れにも納得です。
- 共同生活をおくるための8か条、初めて知りました。当時、そのくらい女性として、人間としての意識が高かったのですね。
- 所属する団体で今年訪れようと計画したところ、11月では無理だと分かり次年度以降の催しとなりました。今日は偶然看板を見つけ上って来ました。建物全体がステキで、ベランダ、展示物、ステンドグラスなどすべてが地元産ということに感激しました。戦後80年のパネル展示もとても良かったです。

## らいてうの家に珍しいお客様!?

10月18日(土) 杓掛・櫻井の当番。開館作業をしていたところ、和室の床に黒い粒粒の落し物が・・・「なんだろうね」と話しながら雨戸明け、掃き掃除を進めていました。

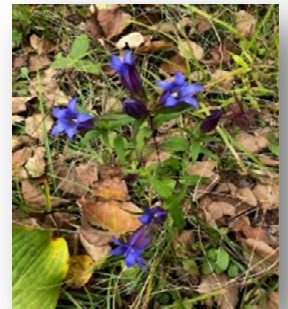
するとベランダの戸袋側の隅に小さな生き物を発見。頭から尾の先まで11cm前後で背中に暗褐色の太い線が鼻先から尾まであり、耳が丸く、くりくりの目が愛らしい小動物がいました。和室からベランダまで梁を伝わって移動していて落下したのか、左足を引きずりながらちょちょこ歩いていて、目を離したすきに地面に落ちて地上を歩いていました。その時は、リスかネズミの仲間か図書室の図鑑で調べてもわからず、あとから調べたところ、「生きた化石」とも呼ばれる



る**ヤマネ**でした。ヤマネは「山鼠」すなわち山のネズミと書くように、齧歯目(げっしもく)ヤマネ科の動物で、日本の固有種で国の天然記念物に指定(1975年)されています。長野県版レッドリストでは準絶滅危惧種でもあります。お客様というより、四阿高原にずっと前から生息していたのでしょうか。らいてうの家や庭が、動植物にとっても大切な場所であることを改めて考えさせら

れました。森の豊かさの象徴ともいわれる**ヤマネ**。らいてうの家と周辺環境を守り、再び訪れてくれると良いですね。

門柱わきに咲いたフデリンドウ→



## 上田市真田地域消費生活展に参加 11/1、上田市民フェスティバルで募金のお願い 11/22

今年も消費生活展に参加し、らいてうとかかわりのあった地元の女性達の紹介をしました。開催規模が以前に戻り、ホールいっぱいの団体が参加して盛会でした。地元地区元会長の花岡静枝さんはじめ理事4人が大勢の皆さんにらいてうの家パンフレット配布はじめ書物販売をしました。20周年の募金集めでは、花岡さんのお力で大勢の方からいただくことができました。

また、22日には上田市民フェスティバルが開催され、救済を目的とするマチ弁として活躍されている山浦善樹さんによる「私たちの暮らしとジェンダー」と題したお話を聴講しました。その折に、ロビーをお借りして家展示のパネルを掲げてらいてうの会、家の紹介をしました。そこでも募金のお願いをしました。こちらも理事5人で百枚を超える数を配布することができました。パネルを読んで今度らいてうの家に行こうと思いますという方もおられました。



消費生活展より

らいてうの家閉館後にも活動を続けています。20周年の新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。